

補助金・交付金 チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	住宅リフォーム補助金	開始 年 度	平成24年度
団 体 名	住宅所有者	団体等 の状況	<input type="checkbox"/> 課税事業者 <input type="checkbox"/> 免税事業者
※対象が個人の場合は <input checked="" type="checkbox"/> 不要			
助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	函館市住宅リフォーム補助金交付要綱		

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	市内に自らが所有し、かつ居住する住宅のバリアフリー化、省エネ化、耐震化に要する工事費の一部を補助する。
目 的	(目 的) 既存住宅のバリアフリー化、省エネ化、耐震化を図ることで、環境負荷の少ない、かつ、安心・安全な住まいの実現を支援するとともに、市内の建築産業の活性化を図る。
・ 効果	(効 果) ・バリアフリー化により、高齢者等の安全性を確保することができる。 ・省エネ化により、地球温暖化防止に寄与することができる。 ・耐震化により、地震による住宅の倒壊を防止し、居住者の生命や財産を保護することができる。

○補助事業の収支状況 ※上段:補助事業等に要する経費 [下段]:補助対象経費 (単位:千円)

	年 度	助 成 金		自己負担	繰越金	計
		市	その他			
収	R3 (決算)	11,127 [11,127]		82,154 [58,025]		93,281 [69,152]
	R4 (決算)	11,787 [11,787]		70,196 [63,762]		81,983 [75,549]
	R5 (決算)	6,760 [6,760]		47,760 [34,773]		54,520 [41,533]
入	R6 (決算)	9,755 [9,755]		65,860 [52,848]		75,615 [62,603]
	R7 (予算)	10,000 [10,000]		40,000 [40,000]		50,000 [50,000]
	年 度	工事費				計
支	R3 (決算)	93,281 [69,152]				93,281 [69,152]
	R4 (決算)	81,983 [75,549]				81,983 [75,549]
	R5 (決算)	54,520 [41,533]				54,520 [41,533]
出	R6 (決算)	75,615 [62,603]				75,615 [62,603]
	R7 (予算)	50,000 [50,000]				50,000 [50,000]

補助金・交付金 チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	住宅リフォーム補助金
----------------	------------

○基本的視点の再チェック

基 本 的 視 点		適	不適	説 明
1	公益性 (明確な公益性があるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	環境負荷が少なく、かつ、市民の安全・安心な住まいの実現を支援するとともに、市内建築産業の活性化を図ることを目的に本補助制度を創設したところであり、人口減少・少子高齢化が進行するなかで、次世代に継承できる住宅ストックの形成は必要不可欠であることから、本補助制度は公益性がある。
	①広く市民生活の向上に貢献する事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
2	必要性(補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	住宅ストックの老朽化が進むなか、意欲はあっても経済的理由で改修工事が進まないことへの社会的要請があることから、工事費用に対する補助は必要である。
3	自主性(自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	工事費用の一部を補助することにより、改修工事に対する自主性を高めている。
4	有効性(他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	改修工事により良質な住宅ストックの形成が図られ、当該工事費用の一部を補助することで住宅所有者の意欲を向上させることから、本補助制度は施策目的実現において最適である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

○財政的視点のチェック

財 政 的 視 点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input type="checkbox"/>	
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input type="checkbox"/>	
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている(最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	住宅リフォーム補助金
----------------	------------

○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)

当該事業は、既存住宅のバリアフリー化、省エネ化、耐震化に係る工事費用の一部を補助することにより、環境負荷が少なく、かつ市民の安全・安心な住まいの実現を支援するとともに、市内の建築産業の活性化を図ることを目的としており、当該事業を活用して改修した既存住宅の件数および、改修工事費用（事業費）が当該事業の効果測定の指標となる。

(達成状況)

令和6年度は、51戸の既存住宅が改修を実施し、その工事請負額は75,615千円である。

※継続事業は、直近の実績 新規事業は、効果のみ記載してください。

(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 一定の効果をあげている <input type="checkbox"/> 効果が疑問である <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>	既存住宅のバリアフリー化、省エネ化、耐震化が図られ、快適で安心・安全な住まいづくりおよび市内の建築産業の活性化に寄与している。

○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続	(見直しの内容※現行のまま継続の場合もその理由を記載) 工事基準が厳しく補助対象とならない工事や申請件数が少ない工事について、要件等の見直しを検討する。 (見直しの時期) 令和9年3月(予定)
<input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続	
<input type="checkbox"/> 廃止	
<input type="checkbox"/> その他	

(廃止の理由)	(その他の内容)
(廃止の時期)	

○終期の設定 ※3年間を目途とした終期を設定し、終期到来年度には必ず見直しを検討すること

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止	次回チェック年度(予定)
令和9年度	<input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	令和9年度